

科目名	国際交流プランニング						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	後期			
担当者名	内海 俊祐	関連する資格					
授業概要 異文化理解の意義、交流の必要性を学び、実際に留学生と交流し、サポートをするに際して必要な生活上の問題、日本文化や日本語関連の知識を習得する。							
到達目標 ・外国人留学生のフレンドシップパートナーやピアサポーターの役割が果たせる。 ・交流に当たって必要となるさまざまな事柄を学習する。			成績評価方法 講義への参加度、レポート、プレゼンテーション及びグループワークで評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○			20
プレゼンテーション	○	○					30
グループワーク	○	○	○	○			20
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 異文化理解の意義 日本文化を知る__映像と資料 日本文化を知る__映像と資料				グループワーク			
2) 異文化理解の意義 日本文化を知る__映像と資料 日本文化を知る__映像と資料				グループワーク			
3) 異文化理解の意義 日本文化を知る__映像と資料 日本文化を知る__映像と資料				グループワーク			

4) 日本文化を概略的に知るために	グループワーク
5) 日本人の言語行動	グループワーク
6) 日本人の言語行動についての討論	グループワーク
7) 山口県についての概略的知識	グループワーク
8) 宇部市についての概略的知識	グループワーク
9) フレンドシップパートナーの役割	グループワーク
10) 交流プログラムの企画 その1	グループワーク
11) 交流プログラムについての討論	グループワーク
12) 交流プログラムの企画 その2	グループワーク
13) 交流プログラムについての討論	グループワーク
14) 異文化理解の意義その2	グループワーク
15) まとめ	グループワーク
授業外学習	
パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションの準備をしておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
毎回講義においてプリント等を配布する。	国際現地研修
備考	
この授業の単位の要件はパワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションとする。	